

人類の悪夢アウシュビッツから
奇跡の生還を果たした心理学者フランクルの名著「夜と霧」、
そこでの出来事を、あたかも体験した人のごとく井上芳雄は語った

井上芳雄による

「夜と霧」

～苦しみの果て、それでも人生に^{しか}然りと云う～

出演 井上 芳雄

演奏 廣川 抄子 (ヴァイオリン)
大田 智美 (アコーディオン)

原作=ヴィクトール・E・フランクル/池田香代子(翻訳)
「夜と霧」(新版)[みすず書房]より

上演台本・演出=笹部 博司
音楽=宮川 彬良

日時= 2016年 2月16日(火)～20日(土)
会場=イタリア文化会館 アニェッリホール

制作協力◎オフィスサラ
主催◎公益財団法人 新潟市芸術文化振興財団
企画・製作◎りゅうとびあ 新潟市民芸術文化会館



井上芳雄による

夜と霧

～^{しか}苦しみの果て、それでも人生に然りと云う～

原作＝ヴィクトール・E・フランクル／池田香代子(翻訳)「夜と霧」(新版)[みすず書房]より

出演 **井上芳雄**

演奏＝廣川 抄子(ヴァイオリン) 大田 智美(アコーディオン)

上演台本・演出＝笹部 博司 音楽＝宮川 彬良

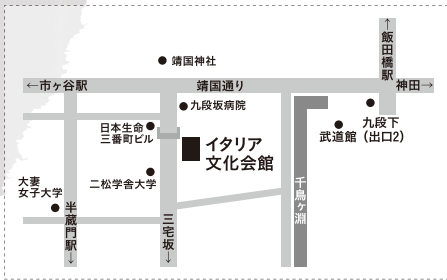
2016年

2月16日(火) 18:30開演

17日(水)～20日(土) 各14:00開演

※開場は各30分前

《会場》イタリア文化会館 アニェッリホール

イタリア文化会館
〒102-0074
東京都千代田区九段南2-1-30《電車》
東京メトロ東西線、半蔵門線、
都営新宿線「九段下」駅下車徒歩10分
駐車場はありませんので、
車の来館はご遠慮ください。《料金》全席指定 **6,500円**(税込)

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

《前売り開始》2015年12月5日(土)

《チケット取扱い》

電子チケットぴあ ☎0570-02-9999 Pコード＝447-014

ローソンチケット ☎0570-000-407(オペレーター対応)

☎0570-084-003 Lコード＝33043

イープラス <http://eplus.jp/>

りゅーとびあ(電話・窓口・オンライン)

チケット専用ダイヤル ☎025-224-5521(11:00～19:00/休館日を除く)

オンライン・チケット <http://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>

※りゅーとびあN-PACmate(友の会)先行発売はございません。

※現時点では、2016年に東京以外での上演予定はございません。

《お申込み・お問い合わせ》

りゅーとびあチケット専用ダイヤル

☎025-224-5521(11:00～19:00/休館日を除く)

主催:公益財団法人新潟市芸術文化振興財団

生きることは、どんな状況でも意味がある

〈人間とは何か〉を描いたベストセラー

「夜と霧」に井上芳雄が挑む

2014年に新潟と金石のみで上演された話題作、
待望の東京公演

極限に向き合う男

カタルシス、演劇とは心の浄化を求めるものである。そのために舞台の上に、試練と苦難が作り出される。その試練と苦難が大きければ大きいほど、大きなカタルシスが舞台の上に作り出される。

そこでりゅーとびあ発の舞台は

「物語の女たち」に続いて

「極限に向き合う男」シリーズに取り組もうと思う。

その第一弾が、井上芳雄による「夜と霧」である。

ナチス・ドイツがアウシュビッツで何をなしたかを、知らない人はいないだろう。

しかし多くの人は、それをあえて

知りたいとは思わないだろう。

それは間違いなく人類が体験した最悪の悪夢である。

その悪夢を、井上芳雄が自らの体験として語る、

それが今回の舞台である。

そして、その体験を経て、井上芳雄はこう語る。

「苦しみにしかり、悲しみにしかり、

涙にしかり、この世界にしかり、すべてしかり」と。

音楽を宮川彬良さんをお願いした。

辛い苦しい体験には、美しい音楽が必要である。

—— 笹部 博司(りゅーとびあ演劇部門芸術監督)

人生の一冊「夜と霧」

子供の頃から

「これだけは読んでおきなさい」と薦められて以来、

「夜と霧」は僕の生涯の一冊です。

今回、その「夜と霧」のリーディングのお話を

頂いた時はとても驚きました。

この本は様々な悲劇と奇跡が重なって生まれた、

全ての人にとって貴重な本だと思います。

これは決してホロコーストの時代だけの話ではなく、

今を生きる私たちにも

計り知れない勇気を与えてくれます。

自分が人生に何かを望むのではなく、

人生が自分に何を望んでいるか。

与えられた機会に感謝して、不必要なものを全て捨て、

一人の人間として舞台に立ちたいと思います。

—— 井上 芳雄

いとうえ よしお

井上 芳雄

1979年生まれ、福岡県出身。大学在学中の2000年に、ミュージカル「エリザベト」の皇太子ルドルフ役で鮮烈なデビューを果たす。以降、舞台を中心に活躍し、「ミー&マイガール」、「モーツァルト!」、「ダディ・ロング・レッグズ〜足ながおじさんより〜」等と主役を務めたミュージカルは高い評価を受け、いずれも再演につながっている。近年では井上ひさしの遺作となった「組曲 虐殺」で、主役の小林多喜二を演じ、ストレートプレイにも挑戦している。また、CD制作、ソロコンサート、ディナーショー等の音楽活動にも意欲的に臨む一方で、テレビ・映画等映像にも活動の幅を広げ、俳優として高い評価を得る。2013年芸術選奨文部科学大臣新人賞演劇部門他受賞多数。



「夜と霧」

精神医学者・心理学者のヴィクトール・E・フランクル(1905-1997)が、自身の第二次世界大戦中、ナチスにより強制収容所に送られた体験を綴った体験記。戦後間もなく「心理学者、強制収容所を体験する」という原題で出版され、日本でも「夜と霧」のタイトルでロングベストセラーとなっている。

台本は「夜と霧」(新版)ヴィクトール・E・フランクル著
池田香代子訳(みすず書房2002年)に基づく。
Ein Psychologe erlebt das Konzentrationslager by Viktor E. Frankl
©Eleonore Frankl and Gabriele Vesely-Frankl
Permission granted by Eleonore Frankl and Gabriele Vesely-Frankl c/o Viktor Frankl Institute
Vienna through Misuzu Shobo, Ltd.